

5/21 (水) 78期 緑の探究Ⅲ
調査・実験② (全3回)

もちもの
課題研究テキスト, 理数探究基礎の教科書

悪い例) 緑高生100名を対象にアンケートをした。
その結果をもとに「高校生は○○である」
という結論を出して、発表した。

この研究は、どう改善すれば良くなるか？
考えてみよう

【解説】

テキストに印をつけよう

p. 27

標本集団：実際にデータをとる対象

母集団：議論したい対象

☆標本集団は、母集団から**無作為に抽出**しよう

☆緑高生のみを対象にアンケートをとる場合、

「日本人全体」や「高校生全体」の議論はしにくい

悪い例) 緑高生100名を対象にアンケートをした。
その結果をもとに「高校生は○○である」
という結論を出して、発表した。

標本集団

母集団

解答例1：議論したい母集団が「高校生」ならば、
全国の様々な高校生を標本集団とするべき

解答例2：標本集団が「緑高生100名」ならば、
結論は「緑高生は○○である」とするべき

t 検定に再挑戦

テキストに印をつけよう

pp. 33~35

- ・ 2つのデータ群に「**統計的に有意な差**」があるか?
有意に大きい or 有意に小さい or 有意差はない
- ・ 数学B「正規分布」の考え方に基づいている
すでに勉強した人々なら理解できるはず！

理系クラス, 数学研究α受講者

統計の相談は池田Tや 笹野Tへ

標準偏差, 箱ひげ図, t検定などの相談を受付中

統計の知識を使うことで、発表の説得力が増す

調査・実験②

作業内容や得られたデータを**探究ノート**に記入
1グループにつき5分程度で**面談**を行う

詳細に！

授業終了時にグループのファイルを提出